5月 給食だより

文京区立湯島小学校
平成３１年４月２３日

♪夏も近づく八十八夜♪

新茶の季節になりました

八十八夜とは、立春から数えて八十八日目のことで、この日に摘んだ新茶を飲むと病気にならないといわれています。実際、お茶には健康に役立つ成分が多く含まれており、日本だけでなく世界的にもその効果が注目されています。

緑茶には、煎茶、玉露、番茶などの種類があり、さらに品種や産地によっても味わいが違います。東京都でも瑞穂町など埼玉県と接する地域で「狭山茶」を作っている農家がまだ残っています。

ご家庭でも日本茶を味わってみてはいかがでしょうか。

こどもの日

5月5日は「こどもの日」です。

「端午の節句」ともいわれ、男の子の成長を祝う日とされてきました。この日にはこいのぼりや武者人形などを飾り、強く育つようにと祈りました。また、柏もちを食べ、しょうぶ湯に入る習慣があります。

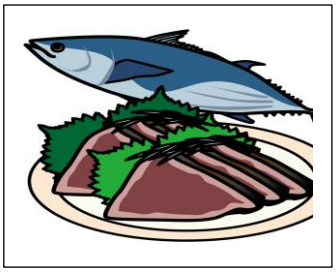
柏の葉は、新しい葉が出てから古い葉が落ちる事から、子供の成長を確認して次の世代に譲る、家が続いていくという縁起の良いものとされています。

目に青葉山ほととぎす 初鰹

（山口素堂）

江戸っ子の初物好きは有名ですが、なかでも初鰹は別格だったようです。

ちょうど 5月頃、暖流に乗ってかつおが関東付近にやってきます。それを『初鰹』と呼び、江戸っ子は「初物を食べると寿命が延びる」と言って、我先にと食べていたそうです。しかし、値段が高く、1尾で1両（現在の約8万円）もすることもあったのです。

さて、味の方はというと、脂は少なめでさっぱりした味わいです。

みなさんも初鰹を楽しんでみてはいかがでしょうか。